

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



# 緑小だより 9月号

令和4年8月31日（水）

茅ヶ崎市立緑が浜小学校  
校長 柴田 貴行

## ○本日より授業再開です。

41日間の夏休みが終わりました。休み中に授業があるときにはできない体験はできたでしょうか。

今日から、前期後半がスタートします。授業が再開し、新たな学びが始まります。落ち着いて着実に取り組んでいきましょう。

茅ヶ崎市のコロナ感染レベルは、夏休み開始と同時に「レベル2」となり、夏休み終了時点でも「2」の継続となります。夏休み前の「感染レベル1」の際に取り組んでいた活動に若干の変更があります。学校は感染対策を講じながら6年生修学旅行や運動会の実施に向けて取り組む予定になっています。

教育委員会からは、国や県の基準に合わせて、学校は濃厚接触者の特定をしなくなるとの連絡が来ています。音楽や給食時等にルールを守っていれば、学校内で感染することはみられていないからということだそうです。代わりに**濃厚接触者相当**の確認を求められることとなります。具体的にはお子様が陽性になった場合に、黙食をしていたか、距離をとらずに大声で歌っていないか、体育の着替えでマスク等をせずにおしゃべりしていないか、学校でくしゃみをして誰かにかけてしまっていないか、等の確認をさせていただくこととなります。ご協力お願いいたします。

## ○いじめ防止サミット

今年のいじめ防止サミットもオンラインで実施されました。参加した小・中学生は、自分の心の大きさを様々な大きさのコップに見立てて、そこに嫌なことがあると水がたまるという「心のコップ」という教材を用いたワークショップに参加しました。「友達にどういうことをされたら水がたまるか」、「自分の心のコップに水を入れないためにはどうしたらよいか」、「どうやったら自分のコップの水を減らせるか」、「友達の心のコップに水を入れてしまった、どうしよう」という課題に答えていきました。自分のことと、相手を思いやる気持ちを意識することを学びました。

自分の心であっても目には見えず、突然水があふれ出る可能性があります。また、他者の心は自分以上にわからず推し量る力を持つ必要があります。

緑が浜小学校からも4名が参加しました。オンラインでの中学生の回答が視野も広く、自分や相手の立場も考えたうえでの発言であったので、参加した小学生たちにとって参考になったようです。

## ○O.P.G.T. ボランティアの皆様ありがとうございます

夏季休業中の図書室開放は、コロナ対応も含めて従来とは若干異なる形式での開放となりました。子どもたちが訪れ、読書をしている姿がみられました。ご協力いただきありがとうございます。

## ○職員の異動について

5・6年生の外国語、3・4年生の外国語活動でALTとして活動していた先生が退職し、9月から後任の先生が着任します。